

6 3 6 1 - 7 0 5
平成18年7月28日

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成18年度病害虫発生予察注意報第5号について

平成18年度病害虫発生予察注意報5号を発表したので送付します。

平成18年度病害虫発生予察注意報第5号

平成18年7月28日
宮 崎 県

病害虫名 コブノメイガ

作物名 普通期水稻

1. 発生地域 県内全域

2. 発生程度 多

3. 発生状況と発令の根拠

- 1) 7月下旬の巡回調査におけるコブノメイガの発生面積率93.3% (平成15年 58.1%)、被害株率33.4% (平成15年 10.4%)、被害葉率2.1% (平成15年 0.4%) はいずれも平成15年より多である。
- 2) 過去10年では、平成15年について2番目に多い発生である。
- 3) ライトトラップでは都城市で6月中旬に9頭 (平成15年同期4.9頭)、えびの市で7月2～3半旬に45頭 (平成15年 51.3頭) のややまとまった飛来が確認されている。

4. 防除上の注意

- 1) 7月下旬の幼虫齢期調査から、今後の発生パターンは表1のように予測される。
- 2) 防除適期は、粒剤を使用する場合は発蛾最盛期に、液剤や粉剤等を使用する場合は幼虫ふ化期 (発蛾最盛期の約1週間後) である。
- 3) 出穂前の上位葉の被害は玄米の充実に及ぼす影響が大きいため、防除を徹底する。
- 4) 防除薬剤等その他の詳細については、宮崎県病害虫防除・肥料検査センター、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。
- 5) ポジティブリスト制度の施行に伴い、農薬の使用については今まで以上に厳重な注意を払い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努める。

表1 有効積算温度から推測される今後の発生パターン

	羽化時期 (発蛾最盛期)	幼虫期 (孵化～5齢幼虫期)	次回羽化時期
県 央	8 / 5 ~ 8	8 / 1 2 ~ 2 8	9 / 5 ~ 9
北諸県	8 / 6 ~ 9	8 / 1 3 ~ 3 1	9 / 8 ~ 1 2
西諸県	8 / 6 ~ 9	8 / 1 4 ~ 9 / 2	9 / 1 2 ~ 1 7
県北部	8 / 6 ~ 8	8 / 1 3 ~ 3 0	9 / 8 ~ 1 2

防除適期： 粒 剤 : 羽化時期 (発蛾最盛期)
液剤・粉剤等： 幼虫ふ化期 (発蛾最盛期の約1週間後)

《連絡先》

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター

櫛間義幸 加藤洋亮

Tel : 0 9 8 5 - 7 3 - 6 6 7 0

Fax : 0 9 8 5 - 7 3 - 7 4 9 9

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp